



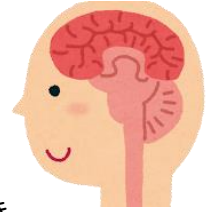
# 浦和大里小学校だより

6月号 令和8年5月29日発行

**教育目標**  
夢と希望をもち、  
人間性豊かで  
心身ともに  
たくましい子の育成

## いじめ No!!

校長 神田 朋恵



開校50年記念音楽会では、多くの保護者・地域のみなさまにご来校いただき、温かい拍手をお送りいただきましたこと、心より感謝申し上げます。子どもたちは、友達と心を合わせて取り組む楽しさや、一生懸命努力することの気持ちよさを実感し、誇らしげな表情を見せていました。本当にありがとうございました。

5月14日には、学校運営協議会兼いじめ防止対策委員会が開催されました（詳細はホームページ「コミスクだより」をご覧ください）。懇談会でもお伝えした学校経営方針をご承認いただき、今年度の教育活動が本格的に動き始めたことを実感しております。今後も、子どもたちを中心に据え、保護者・地域・学校が手を取り合い、それぞれの役割を果たしながら連携し、情報を共有してまいります。音楽会を通して、改めて本校の子どもたちが地域の温かな見守りの中で育っていることを強く感じました。

さて、6月に入ります。学校では、6月・11月・2月を、子どもたちが気持ちの緩みや目標の見失いを起こしやすい時期として捉えています。今月の生活目標は「**友達のよいところを見つけよう**」です。また、全市立学校の「いじめ撲滅強化月間」にもあたります。お話朝会では、「いじめ」と「人間の脳」の関係について話をする予定です。

人間の脳は、内側から、脳幹（命を支える脳）・大脳辺縁系（感情を支える脳）・大脳新皮質（知恵を支える脳）の大きく3つの部分から構成されています。脳幹は、生きるために必要な働きを担い、「ヘビの脳」とも呼ばれます。大脳辺縁系は感情を司り、「ネコの脳」とも呼ばれます。そして大脳新皮質は、人間特有の知性を担う「ヒトの脳」です。

人はいじめを受けると、この3つの部分のうち、ある部分が弱ってきます。

どこだと思いませんか。

実は「命を支える脳（脳幹）」の働きが弱っていきます。眠れなくなる、食欲がなくなるなど、生きる力そのものが低下してしまうのです。

一方で、いじめる側は「ふざけていただけ」「そんなつもりはなかった」と話すことがあります。自分の行動がいじめであることに気付いていない場合もあります。

しかし、いじめは人の生きる力を弱め、ときには命までも奪ってしまう重大な行為です。

本校では今年度、児童会に加え、新たに発足したなかよし委員会を中心に、いじめ防止キャンペーンを展開します。各学級でも、「ストップいじめ！」のスローガンを考え、実践していきます。教職員は、子ども一人ひとりに目を配り、心を配りながら、「誰一人取り残さない」指導を引き続き進めてまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましても、お気付きの点やご心配なことがございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。今月もどうぞよろしく願いいたします。